

環境活動レポート

株式会社 ハルナ工業

(対象期間:平成28年7月～平成29年6月)

平成29年8月4日作成

目次

	頁
1.事業活動の概要	1
2.環境方針	2
3.環境管理実施体制	3
4.環境目標	4
5.環境目標とその実績	5
6.環境活動の取組結果の評価と次年度の取組	6
7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	7
8.代表者による全体評価と見直しの結果	7

1.事業活動の概要

- 【1】 会社名 株式会社 ハルナ工業
- 【2】 代表取締役 永田 博孝
- 【3】 設立 昭和 43 年
- 【4】 資本金 1 千万円
- 【5】 事業内容 精密板金加工
- 【6】 事業の規模 年間売上高 231 百万円
- 社員数 17.5 名(平成 28 年 6 月現在)
- 【7】 本社所在地 神奈川県横浜市鶴見区駒岡 2-8-53
- 【8】 認証・登録対象範囲 株式会社ハルナ工業
レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載
- 【9】 審査対象規模 延べ面積 1224㎡
- 【10】 主要業務 精密板金加工
- 【11】 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
(代表者) 代表取締役 永田 博孝
(環境管理責任者) 春山 英範
(同連絡先) 045-574-0531

2.環境方針

環 境 方 針

株式会社ハルナ工業は『地球環境と調和』を基本理念とし、板金事業を通じて資源循環型社会の実現に寄与し、環境にやさしい社会作りに貢献する。

また、日常の事業活動において自然環境との共生、地域との融和を目指した活動を推進する。

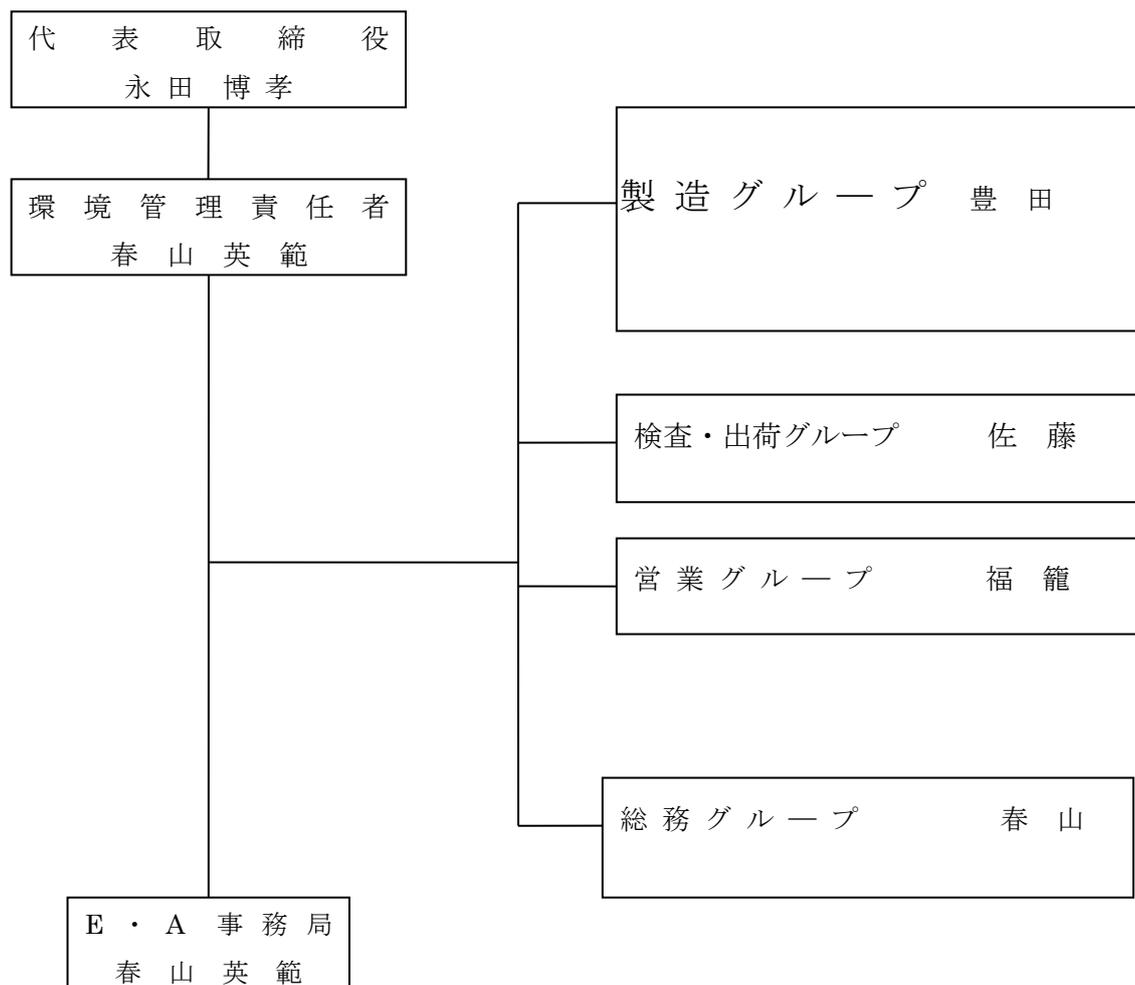
1. 事業活動に伴う大気・水質・騒音の汚染等の環境影響を的確に把握し、適切な環境目的・目標を設定し実行する。また、定期的な見直しにより活動の結果を確認し継続的な改善を図る。
2. 環境関連法令・条例・ならびに地域行政等の取り決め事項を遵守し、自主基準・規定による管理を実行する
3. 省エネルギー・省資源・リサイクル及び廃棄物の低減等、地球環境に配慮した事業活動を推進し、グリーン商品の調達及び廃棄物の再利用を徹底的に追及し資源循環型社会の実現に貢献する。
4. 自主的な環境保全を推進するため環境管理組織を確立し維持すると共に、従業員・協力会社関係者の環境意識高揚のため環境に関する教育・啓蒙活動を積極的に実行する
5. 環境方針は文書等により従業員・協力会社関係者に周知徹底し維持する。また、社外に対しても文書等を持って開示する。

平成 19 年 10 月 1 日 制定

平成 21 年 7 月 1 日 改定

株 式 会 社 ハ ル ナ 工 業
代表取締役 永 田 博 孝

3.環境管理体制



H27.05.01 改定

〈責任及び権限〉

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> •環境方針の策定 •実施体制の構築 •全体の評価と見直し 	<ul style="list-style-type: none"> •環境管理責任者の任命
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> •環境経営システムの構築及び運営 •順法の取りまとめとチェック 	
E・A事務局	<ul style="list-style-type: none"> •環境管理責任者の補佐 •各文書作成、コピー、保管 	
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> •環境活動目標の実行と継続的改善 •達成できているかの確認、報告 	

4. 環境目標(平成28年度)

No	環境方針項目		基準値	CO ₂ 排出係数	年度目標										
			(H26年度実績)		H27	年度	H28	年度	H29	年度					
1	二酸化炭素排出量の削減	電力エネルギーの削減	電力使用量		基準値に対し	1 %削減	基準値に対し	2 %削減	基準値に対し	3 %削減					
			18,406	0.531	18,222	18,038	17,854								
			kWh/年		kWh/年以下	kWh/年以下	kWh/年以下								
			9,774		9,676	9,578	9,480								
				kg-CO ₂ /年		kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下						
		化石燃料使用量の削減	油種別消費量		基準値に対し	1 %削減	基準値に対し	2 %削減	基準値に対し	3 %削減					
			灯油 <L/年>	2.492	697	690	683								
			704		L/年以下	L/年以下	L/年以下								
			都市ガス<Nm ³ /年>	2.108	0	0	0								
					Nm ³ /年以下	Nm ³ /年以下	Nm ³ /年以下	Nm ³ /年以下							
			LPG <kg/年>	3.002	0	0	0								
					kg/年以下	kg/年以下	kg/年以下	kg/年以下							
			ガソリン <L/年>	2.322	1,433	1,419	1,404								
			1,448		L/年以下	L/年以下	L/年以下	L/年以下							
			軽油 <L/年>	2.624	1,839	1,820	1,802								
1,858			L/年以下	L/年以下	L/年以下	L/年以下									
9,990		9,891	9,791	9,691											
		kg-CO ₂ /年		kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下								
計(kg-CO ₂)		19,764	19,566	19,369	19,171										
		kg-CO ₂ /年		kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下	kg-CO ₂ /年以下								
2	廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し	1 %削減	基準値に対し	2 %削減	基準値に対し	3 %削減					
			14,852		14,703	14,555	14,406								
		枚/年		枚/年以下	kg/年以下	kg/年以下									
	梱包材の削減	梱包材使用量		基準値に対し	1 %削減	基準値に対し	2 %削減	基準値に対し	3 %削減						
		2,185		2,163	2,141	2,119									
	枚/年		枚/年以下	kg/年以下	kg/年以下										
	金属くず等の削減	金属くず		基準値に対し	1 %削減	基準値に対し	2 %削減	基準値に対し	3 %削減						
		20,940		20,731	20,521	20,312									
		t/年		t/年以下	t/年以下	t/年以下									
3	総排水量の削減	上水の使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	0 %削減	基準値に対し	0 %削減	基準値に対し	0 %削減					
			288		288	288	288								
		m ³ /年		m ³ /年以下	m ³ /年以下	m ³ /年以下	m ³ /年以下								
4	化学物質使用量の削減	化学物質安全管理	化学物質使用量		基準値に対し	0 %削減	基準値に対し	0 %削減	基準値に対し	0 %削減					
			112.0		112.0	112.0	112.0								
		L/年		L/年以下	L/年以下	L/年以下	L/年以下								
5	グリーン購入	グリーン購入の推進	グリーン購入品目数		基準値に対し	%向上	基準値に対し	%向上	基準値に対し	%向上					
			2		2	2	2								
		品目/年		品目/年以上	品目/年以上	品目/年以上	品目/年以上								
6	環境教育・保全	周辺整備・清掃の実施	整備・清掃回数		基準値に対し	%向上	基準値に対し	%向上	基準値に対し	%向上					
			5		5	5	5								
		回/週		回/週以上	回/週以上	回/週以上									
		工場見学受入れ	受入れ回数		基準値に対し	%向上	基準値に対し	%向上	基準値に対し	%向上					
2			0	2	3										
		回/年		回/年以上	回/年以上	回/年以上	回/年以上								

注) 二酸化炭素排出係数は東京電力の平成25年度実績の0.531kg/kWhを適用した。

5. 環境目標の達成状況(平成28年度)

No	環境方針項目		基準値	達成状況			
				目標	実績	達成度	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力エネルギー量の削減	CO ₂ 排出量	基準値に対し	2.0 %削減	14.8%	
			9,774	9,578		8,331	○
			kg-CO ₂ /年	kg-CO ₂ /年以下		kg-CO ₂ /年	85.2%
		化石燃料使用量の削減	CO ₂ 排出量	基準値に対し	2.0 %向上	5.3%	
			9,990	9,791		10,521	○
			kg-CO ₂ /年	kg-CO ₂ /年以下		kg-CO ₂ /年	105.3%
2	廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	紙使用量	基準値に対し	2.0 %削減	33.8%	
			14,852	14,555		9,839	○
			枚/年	枚/年以下		枚/年	66%
		梱包材の削減	段ボール使用量	基準値に対し	2.0 %削減	-19.1%	
			2,185	2,141		2,603	×
			枚/年	枚/年以下		枚/年	119%
		金属くず等の削減	金属屑発生量	基準値に対し	2.0 維持	-52.2%	
			20,940	20,521		31,872	×
			t/年	t/年以下		t/年	152%
3	水使用量の削減	水道使用量	基準値に対し	0.0 %削減	21.0%		
		288	288		228	○	
		m ³ /年	m ³ /年以下		m ³ /年	79.0%	
4	化学物質使用量の削減	化学物質使用量	基準値に対し	0.0 %削減	-14.3%		
		112	112		128	×	
		L/年	L/年以下		L/年	114.3%	
5	グリーン購入の推進	グリーン購入品目数	基準値に対し	%向上	0.0%		
		2	2		2	○	
		品目/年	品目/年以上		品目/年	100.0%	
1	環境教育・保全	周辺整備・清掃の実施	j実施回数	基準値に対し	0.0 %向上	11.1%	
			270	270		240	×
			回/年	回/年以上		回/年	88.9%
		工場見学受入れ	実施回数	基準値に対し	0.0 %向上	50.0%	
			2	2		3	○
			回/年	回/年以上		回/年	150.0%

注)二酸化炭素排出係数は東京電力の平成25年度実績の0.531kg/kWhを適用した。

※達成度は基準値との比較

6. 環境活動の取組結果の評価と次年度の取組

目標項目		今年度の取組内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力エネルギーの削減	空調の適温化の徹底	① 空調の適温化の徹底 (暖房22° C、冷房29° C) ② 照明スイッチの適正管理 (不在時、不要箇所の消灯)を行い省電力化を計る。 事務所等での減少はまだ取組む余地があったという事なのだろう。今年度は削減出来たが、現場は横ばいとなる	空調等の使用方法で削減を目指してみる
		照明の適正管理		
	化石燃料使用量の削減	エコドライブの励行	① エコドライブの励行(アイドリングストップ、規定速度順守) ② 定期的な車両点検実施(タイヤの空気圧、バッテリー、ランプなど)を行い燃費の向上を計る。 全体を見ると微増	今後は微増・微減を繰り返していく事と思われる
		定期的車両点検整備		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	① 紙使用量の削減 (両面印刷、裏紙使用) ② 包装材、梱包の削減。 紙使用量は微増、段ボール使用量は減少 段ボールは年商次第によっては増える事もあり得る 紙使用も削減が厳しくなっている	厳しくなっているが、次年度も継続する
		梱包資材の削減		
	金属屑等の削減	不良製品の削減	③ 金属屑の削減	金属屑は月平均を出し平均廃棄率を求める
		歩留の向上		
水使用量削減	節水の工夫	① 元栓の絞り込み、節水表示の推進 (水道バルブ、トイレ等) ② トイレ洗浄水を適切量に抑制。 年末年始休暇時の水道管破裂により12%増	水道管破裂は修理済みなので来年度には元に戻ると予想	
	トイレ洗浄水の削減			
化学物質使用量の削減	化学物質安全管理	①ベンジンの使用削減 今年度減少はしているが、使用量はほぼ横ばい	次年度も継続して増加させない	
	ベンゼン使用量の削減			
グリーン購入	グリーン購入の推進	① グリーン商品の調達 昨年4月の消費税アップ前に事務用品を購入し、必要な物の購入はほぼ行わず	継続して事務用品の購入は抑制するが、購入する場合はグリーン購入を心がける	
環境配慮サービスの提供	地域の環境整備	環境美化の為、敷地内及び周辺の整備・清掃を行う	週5回は次年度も継続	
	製品材料の情報把握			

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 遵守状況をチェックした結果、環境関連法規等の違反はありません。
2. 関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

- 環境関連法規一覧表 -

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
・家電リサイクル法
・下水道法
・高圧ガス保安法
・自動車リサイクル法
・道路交通法
・道路運送車両法
・自動車NOx、PM法
・フロン排出抑制法
・PRTR法
・ELV指令
・WEEE指令
・RoHS指令

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し対象期間 平成28年7月1日～平成29年6月30日

実施日 平成29年7月30日

実施者 代表取締役 永田 博孝

使用資料 環境活動計画内容と実績、各種活動実績表

エコアクション21導入から9年経過し、初期から行ってきた項目についての削減目標達成が難しくなっている部分もあるが、今回の電力削減の達成のように見方を変えさえすれば削減可能な項目はまだあると環境管理責任者に指示を出す

金属屑は今回で指標が出来た。購入平均と廃棄平均となるが、社内で取組める部分は材料歩留まりと不良製品による無駄な材料の削減となると報告を受けている

年月が経ち厳しい部分もあるとは思いますが引き続き一人一人の工夫を行い削減目標達成を目指したい

以上